

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス すだっちイースト		公表日 令和7年 2月 3日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・利用人数が多い時は2階だけだと狭く感じるため、1階の訓練室も活用し、活動を分けるなどして工夫している。	・担当児童が1階と2階に分かれた場合、職員配置に留意している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・県の基準に沿った職員配置をしている。	・担当児童だけでなく、児童の1グループ毎に必ず職員が付き添い、責任をもって目を向けている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	・玄関前にスロープが設置できるようにしてある。 ・階段の柵の設置。 ・階段の昇降時に職員が付き添っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・児童を各自宅へ送った後、毎日清掃等により環境整備に努めている。また、児童の活動に応じて1階と2階に分かれるなどして対応している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・通常は2階の部屋で過ごすことが多いが、必要に応じて1階の個室を使用することができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・毎日、朝礼と終礼で振り返りを行い、月1回の全体会議で全職員が参画している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	・調査結果を職員全員に周知している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎月1回、職員全体の会議を開催しており、職員の意見等を把握する機会を設定している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	・理事会で協議している。	・第三者による外部評価委員会の設置については、検討中である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・事業所内部の研修だけでなく、外部の研修会にも参加している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	・事業所内会議を実施し、職員間で共有しており、ホームページ等で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・児童の送迎時や面談等で保護者の意向や思いなどを聞き、支援会議で話し合い、作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・半年に1回、職員間でケース会議を開き、個別支援計画の見直しに反映させている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・事業所内会議を実施し共有している。 ・また、毎日業務終了後の終礼時に、その日の振り返りを行い、日々の活動の中で出された意見も記録している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	・決まったアセスメントツールはないが、職員間で話し合い、工夫している。	・標準化されたアセスメントツールの総合的な活用が課題である
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・個別支援計画については、ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の支援内容を踏まえながら、児童の支援に必要な項目を適切に設定した上で、具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・活動のリーダーを中心に企画立案するほか、児童も企画立案から活動プログラムに参加するなど、開かれたプログラムとなっている。	・今後は、ご家族のご意見等も取り入れた活動プログラムも考えていきたい。

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員個々の個性を大切に、たくさんの意見や発案が出てくるようにみんなで話し合いを行っている。</li> <li>・職員だけでなく、児童も一緒になって、アイデアを出し合い工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立案・工夫はなされているが、十分なのかどうかは検討する必要がある。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の状況を考慮し、グループを分け、計画を立てている。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に会議を開き判断している。また、その都度情報の共有を行っている。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の業務終了後の終礼での振り返りの際に気づきを必ず周知している。</li> <li>・注意すべき点、問題点や課題が見つければ共有し解決策を探っている。</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づきは支援記録に必ず残し、問題点はその都度、解決策を検討し全職員に周知している。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との個人面談や相談支援専門員の意見を取り入れ、情報を共有している。</li> <li>・半年毎にモニタリングを実施し、支援の見直しや検討を行っている。</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援、創作活動、地域活動余暇などの支援を集団・個別にて行っている。</li> </ul>	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズ企画と称して、子どもたちのやってみたい事を職員と一緒に企画し、実行している。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管が主に参加しているが、場合によっては担当職員も一緒に参加している。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員と連携を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、必要があれば共有していく。</li> </ul>
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの連絡のもと、学校へ確認の連絡を取っている。</li> <li>・下校時に担当教員から児童の体調や様子を確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、または担任教師によって情報共有に偏りがある。</li> </ul>
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な場合は行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当児童なし。</li> </ul>
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせがあれば、必要に応じて情報提供を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当児童なし。</li> </ul>
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別、連携は行ってはいないが助言や研修は受けている。</li> </ul>	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活動（お祭り、子ども食堂等）に参加している。</li> </ul>	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例協議会の会議録（HP）は毎年確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会があれば参加していきたい。</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳の活用と送迎時、個別の電話連絡などで、児童の様子をお互いに伝達しあっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近では、SNSを活用して連携を図っている。</li> </ul>
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事への参加などの呼びかけを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングに関しては、今後、保護者に対して研修や支援への声掛けが課題である。</li> </ul>
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学時に支援内容の説明を行い、契約時に重要・契約事項の説明を行っている。</li> </ul>		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・日頃から、保護者の方々とコミュニケーションを図り、困りごと等を職員で共有し、作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・保護者に対する面談時に具体的な支援内容について同意を得るようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・連絡帳や電話又はSNS、日々の送迎時に個別で対応ができています。 ・相談内容は保護者の承諾を得て、職員間でも共有している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	6	・家族で参加できる行事への声かけを行っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・その日のうちに会議を行うようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		・SNSを活用し、活動の様子を定期的に配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・鍵付きの書庫で管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・発語のない児童には絵カードやタブレットを使用する等の工夫をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	・地域の祭りに参加するなど、地域の方も事業所を理解し、暖かく見守ってくれている。また、子ども食堂への参加等も行っている。	・今後は、ワークショップへの参加も呼びかけていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・全職員には、入社時に研修をしている。 ・緊急対応マニュアル、防犯、防災マニュアルに関しては、書式化し契約時に保護者に手渡している。また、最新の情報をSNSを活用して保護者にも周知してもらっている。 ・避難訓練等は、事前に通信などでお知らせし、実施後はSNSで当日の様子を報告している。 ・サイレンの音が苦手な児童には、事前にサイレン音を聞かせたり、内容を動画で説明している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・年2回の火災による避難訓練と地震、浸水域の訓練、防犯訓練等、消防や警察の協力のもと実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		・保護者と連携を図り、職員間で周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	5	・保護者と連携を図り、職員間で周知している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・各年度当初に安全計画の見直しを行い、事業所内の職員全体会議において、安全管理に必要な研修を実施している。また、年間を通じて必要な訓練等を計画的に行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・安全計画及び安全に関する取組の内容について、玄関ホールへの掲示や、定期的な通信等により周知を図っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・些細な事案でも作成し、全職員で共有している。	・定期的に事業所内会議でヒヤリハットの事例検討会を行っている。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・年2回、事業所全体での研修。 ・虐待防止委員会を設置し、2ヵ月に1回、事例検討会や日々の支援が適切か否か等について検討している。		

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	・保護者の希望で、保護帽を使用している児童も同様に、保護者の同意書を頂いている。	
----	--	---	--	--